

2022年2月17日

「第8回 医療と介護の総合展 大阪」に初出展

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市、代表取締役・社長 増井敬二）は、2月24日（木）から2月26日（土）までインテックス大阪（大阪市住之江区）で開催される「第8回 医療と介護の総合展 大阪」に出展し、医療Ma a S^{*1}の実現に向けたクルマの紹介、提案を行います。

1. 出展内容

MEDICAL MOVER（メディカルムーバー） 1台

このクルマは、さまざまな理由で診察や健康診断に行けない方々の健康維持・増進などの課題をモビリティで解決することをめざした「医療Ma a S車両」です。

トヨタハイエースをベースとし広い室内空間を生かすことで、バイタル測定（血圧・脈拍・血中酸素濃度・体温・呼吸数）のほか、採血や心電図測定、健康診断など、複数のメディカルチェックがリラックスした状態で行えます。

想定される利用シーンとして、看護師や保健師がMEDICAL MOVERに乗り、患者様のもとへ出向き、バイタル測定ののち、健康診断を行います。その後、病院の医師が車内の大型モニターを通じ、オンラインでバイタル測定の結果説明や診察を行います。

車両後部には、薬や医療備品などを入れられる大容量の収納棚を設置し、医薬品の配達等にも対応可能です。将来の薬の配達を見据え、ドローンも装備できます。



MEDICAL MOVER



大型モニターや折り畳みベッド、バイタルカメラなどを装備した車内



オンラインで医師の診察を受ける（イメージ）



医療品などを収納できる後部スペース

トヨタのミニバンや商用車、福祉車両の企画・開発・生産を担う当社は、地方自治体や医療の現場の一つひとつ異なるニーズに、最適なクルマや装備・配置などの提案から開発・製造まで、パッケージ化したサービスでお客様の課題解決に貢献してまいりました。

これまでに手掛けた医療MaaS車両は、現在、飛沫循環抑制車（昭和大学病院ほか）や、オンライン診療車^{*2}（長野県伊那市）、ヘルスチェック車^{*3}（青森県青森市）として各地で運用されています。

トヨタ車体は、ミニバンや商用車、福祉車両などお客さまのニーズに合わせたクルマづくりの知見やノウハウを生かし、地域や医療などの多様なニーズにお応えしたモビリティを提供していきたいと考えています。

*1：MaaS：(Mobility as a Service)

一人ひとりの移動ニーズに対し、バス、電車、タクシーからライドシェア、シェアサイクルといったあらゆる公共交通機関を、ITを用いて最適に組み合わせて使用できるサービス

*2：オンライン診療車

車両には看護師が乗車し患者様宅を訪問し、病院（遠隔地）にいる医師が車内でビデオ通話により看護師に指示をして診察を行う車両

https://toyota-shouyousya.com/others/online_examination_car/

*3：ヘルスチェック車

イベントやコンビニへ行ったついでに気軽に立ち寄りヘルスチェックを行える車両

https://toyota-shouyousya.com/others/health_check_car/

2. 出展場所

4号館 小間番号：2-26（介護&看護 EXPO 地域包括ケアフェア内）

【医療と介護の総合展 大阪 開催概要】

会期：2022年2月24日(木)-26日(土) 10:00~17:00

会場：インテックス大阪（大阪市住之江区）

主催：RX Japan 株式会社（旧社名：リード エグジビション ジャパン）

共催：一般社団法人 日本病院会、一般社団法人 日本介護協会、

公益社団法人 大阪介護老人保健施設協会

以上

世界のくらしに 笑顔届けたい

